

平成13年度

石川県建設産業雇用改善推進大会

スロ - ガ ン

《明日を拓く建設業、今日も進める雇用改善》

と き 11月19日(月) 午後1時から

ところ 石川県建設総合センター 7F大ホール
金沢市弥生2丁目1番23号

主 催 石 川 労 働 局
石 川 県
雇用・能力開発機構石川センター
(社) 石 川 県 建 設 業 協 会

協 賛 金沢、加賀江沼、小松能美、鶴来地方
羽咋郡市、七尾鹿島、鳳輪、珠洲各建設業協会
河北郡土建協同組合、石川県建設産業連合会

平成13年度

石川県建設産業雇用改善推進大会

第一部 式典 (13:00~14:00)

主催者挨拶

石川県知事 谷本正憲
石川労働局長 若原敏昭
雇用・能力開発機構石川センター所長 富樫 徹
(社)石川県建設業協会会長 真柄敏郎

表彰

優良事業所等の表彰

厚生労働大臣表彰 1 社
石川県知事表彰 2 社
(社)石川県建設業協会会長表彰 6 社

建設業に働く若者からのメッセージ表彰

全国優秀賞(雇用・能力開発機構理事長賞) 1 名
(社)石川県建設業協会会長奨励賞 8 名

けんせつセーフティ・ドライブ・コンテスト表彰

優秀協会(参加率・達成率)表彰 各1団体
達成チーム表彰 代表1チーム

横断旗の寄贈

3,000本

建設業に働く若者からのメッセージ優秀作品の朗読

全国優秀賞 山田知明(真柄建設株)

来賓祝辞

金沢市長 山出 保
国土交通省北陸地方整備局金沢工事事務所長 神長耕二

第二部 記念講演 (14:00~15:00)

新潟県北魚沼郡

針倉山 永林寺 住職 佐藤 憲雄 氏

演題 ~和尚のひとりごと~ 「この世は『ご苦楽』泣き笑い」

受賞される企業と個人

厚生労働大臣表彰

(株) 向出組	代表取締役 向出 剛一	加賀市下河崎町へ18
---------	-------------	------------

石川県知事表彰

(株) 岡組	代表取締役 岡 昌弘	金沢市泉本町2丁目141
--------	------------	--------------

(社)石川県建設業協会会長表彰

はやし建設(株)	代表取締役 中野 和夫	金沢市堅田町甲84-1
丸石建設(株)	代表取締役 清水 清治	金沢市西泉4丁目35
(株)松建	代表取締役 藤田 清	松任市小上町39-1
加賀工建(株)	代表取締役 嘉藤 進	小松市錦町1
(株)沢本組	代表取締役 澤本 敏	河北郡宇ノ気町字宇野気二80
(有)中塚組	代表取締役 中塚 昭三	珠洲市宝立町鵜飼卯の部18-5

「建設業に働く若者からのメッセージ」表彰

- ・ 全国優秀賞（雇用・能力開発機構理事長賞）

山田 知明（真柄建設(株)）

- ・ （社）石川県建設業協会会長奨励賞

山田 知明（真柄建設(株)） 北村 啓太（北川ヒューテック(株)）

西 和美（(株)アスム建設） 羽田 嵩正（北国建設(株)）

番匠 哲也（加州建設(株)） 山崎 貴文（丸石建設(株)）

上田 高德（(株)トーケン） 大山 智也（(株)吉光組）

「けんせつセーフティ・ドライブ・コンテスト」表彰

- ・ 参加率優秀協会 （社）珠洲建設業協会
- ・ 無事故・無違反達成率優秀協会 （社）羽咋郡市建設業協会
- ・ 無事故・無違反達成チーム（250） 代表 近藤工務店 “ぞうチーム”

講師のプロフィール

新潟県北魚沼郡堀之内町

曹洞宗 針倉山 永林寺 住職 佐藤 憲雄 氏



ご住職は、昭和13年2月5日 新潟県北魚沼郡堀之内町に生まれ、地元小千谷高校を経て駒沢大学仏教学部卒業後、同大学大学院人文科学研究科仏教学専攻修士課程を終了され、昭和42年9月に永林寺第二十五代住職となられ、今日に至っておられます。

ご住職は、ユーモアと言葉遊びによる人生訓で著名な和尚さんで、自らを「愚多羅和尚」と名乗り、お寺の宗派も「皆の宗・ニコニコ宗 双本山 永林寺」と称し、新潟県のみならず全国に講話出張しておられるとともに、「福德一語一会」「福德越後一絵」など多くの著書等を発刊されてご活躍中の方であります。

一方、ご住職は学生時代より土木建築基礎工事会社を設立経営され、昭和五十七年永林寺諸堂の新築・整備を機に廃業というご経歴をお持ちであります。

永林寺 寸描（住職著書「福德 一語一会」から）

「幕末の名匠石川雲蝶の作品をいまに留める越後の名刹・永林寺」

永林寺は林泉庵第四世・竹巖全虎和尚を招請して開山第一世となし、今日まで連綿として五百有余年の法燈を守りつづけております。松平忠直公、松平光長公の位牌寺として三葉葵の御家紋を戴く由緒深い寺です。

近世の高徳第二十二世・円応弁成和尚の時、江戸の名匠石川雲蝶が十三年費やして成した堂内の彫刻絵画は、連作「小夜の中山蛇身鳥」物語を始め、人物花鳥山水と多彩を極めます。作品は深彫り、浅彫り、絵画に及び、雄勁にして細蜜、彩色は華麗で精巧濃艶しかも卑しからず、その数百余点を越え当寺に留め、近郷近在にその名をとどろかせています。